

みんなの ひろば

インターシップで広取材に挑戦!

松田 愛優佳さん(魚田)

実際に仕事が体験できて感動しました



クローズ
アップ
まちのひと

いろいろな作業があることに驚きました。各課から集まった原稿をまとめて、見やすさや配置を考えながら決まったページ数に仕上げるという編集作業の難しさを体験することができて、感動しました」と振り返る。

役場の仕事について「事前に先輩方や先生から少し話を聞いて事務が中心だと想像していましたが、実際に体験すると、広報紙の取材やお祭りの運営、ダムの管理、林業に関わることなど、外に出る仕事がたくさんあって、自分が持っていたイメージと違い驚きました」と感想を話す。

2日間のインターシップを振り返って「最初は緊張して固くなってしまいかもしいなと思ったのですが、皆さんがとても丁寧なわりに優しく教えてくださるので本当に楽しかったです。とても良い経験になりました」と感想を話してくれた。

6月13日と14日の2日間、役場で就業体験学習(インターシップ)を行なった雄武高校2年生の松田愛優佳さん(16歳)。役場にインターシップを希望した理由について「卒業後の進路を考えると、幅広い世代の方々と関わりながら町のために役立つことができる町職員に憧れを持ってようになりました。今回、インターシップという経験から役場の仕事を学ぶことができればと思い、希望しました」と話す。

初日の13日には産業振興課でダムや浄水場などの施設見学を行い、14日は総務課で「広報おうむ」作成のための写真撮影や編集に挑戦。「若草保育所の取材では、子どもたちが常に動いていたので、カメラに収めて、なおかつ表情も入れるとなるとチャンスが限られてしまい、すごく難しく感じました。写真を撮ることも難しいですが、広報紙に掲載する前に白黒の印刷でもきれいに見えるように加工したり、不要な背景を消したりと、

おおきくなったら
～若草保育所～

わんぱくキッズ



おおみず
こうきくん



さとう
あこちゃん



はしだ
あゆむくん

えほんやさん

学校の先生

タイヤやさん

フレッシュトーク

目配りや気配りができる人になりたい

役場財務企画課企画調整係兼財政係 小俣 博和 さん



昨年の4月から雄武町役場で働く小俣博和さん(25歳)。現在は財務企画課企画調整係兼財政係として勤務する。出身は旭川市。北見工業大学を卒業後、雄武町職員となる。就職を決めた理由について「町民の方々と身近に接することができ、町村職員の仕事に魅力を感じました」と振り返る。

今後の目標について「勤務して2年目ですので、上司や先輩から言われたことをやるのはもちろんですが、周囲に目配りや気配りができるような人になりたいです。係の中の仕事を一つでも任せていただいて自分の力で進めていけるようにになりたいと思っています」と力強く話してくれた。

趣味
音楽鑑賞・バドミントン
好きな女性のタイプ
一生懸命になれることを一つでももっている人

小さな美術館

豊丘小学校



天間 梨南さん(6年)



↑「パイン花火うちわ」



村田 栞理さん(6年)



↑「文字入り花火うちわ」



山田 嘯洋さん(6年)



↑「スイカ花火うちわ」